

I. 計画策定の背景及び目的

1. 計画策定の背景及び目的

現在、太田市では太田市斎場において火葬業務を行っており、千代田町・大泉町・邑楽町では、大泉町外二町環境衛生施設組合が管理運営している大泉町外二町斎場において火葬業務を行っている。両斎場の供用開始は太田市斎場が昭和 56 年、大泉町外二町斎場が昭和 55 年となっており、供用開始から既に 40 年以上が経過し、経年劣化も顕著となっている。

また、今後さらなる高齢化が進み、火葬需要の一層の増加が予想される状況下において、太田市・千代田町・大泉町・邑楽町の一市三町は、総合的な事務の効率化、スケールメリットによる財政負担の軽減等を勘案し、広域連携による新斎場の建設にあたり事業を計画的に進めるため、スケールメリットの確認、建設地及び最適事業手法の検討等、関連する調査を行い、新斎場整備のための基本計画を策定する。

※本計画において、法令等に関する記述には「火葬場」とし計画や施設関係を表記するものには「斎場」と記載してあるが、同じ施設を表す。